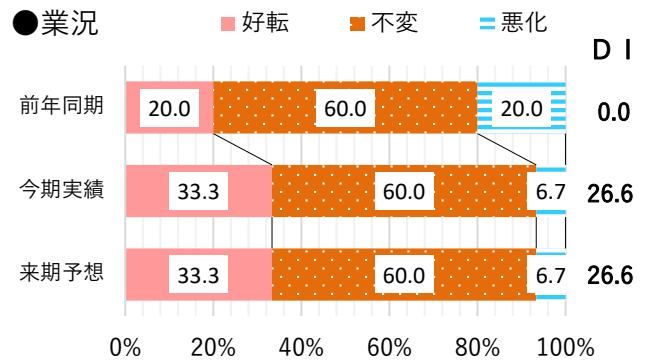


運輸・倉庫業

業況、売上、採算

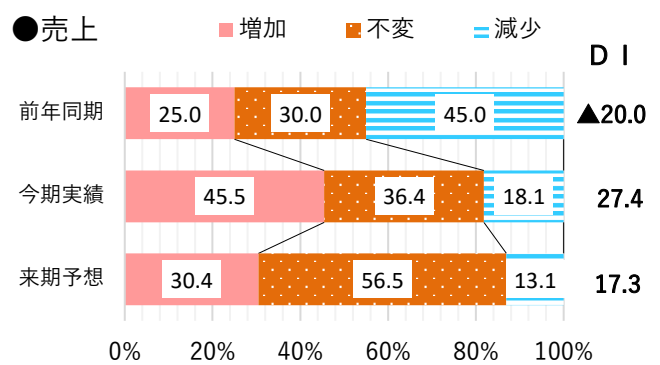
今期（2025.4～6）の業況判断DIは26.6で、前年同期（2024.4～6）と比べ26.6ポイント上昇しました。

来期（2025.7～9）の業況DIは今期と比べ（2025.4～6）変化なしと予想しています。



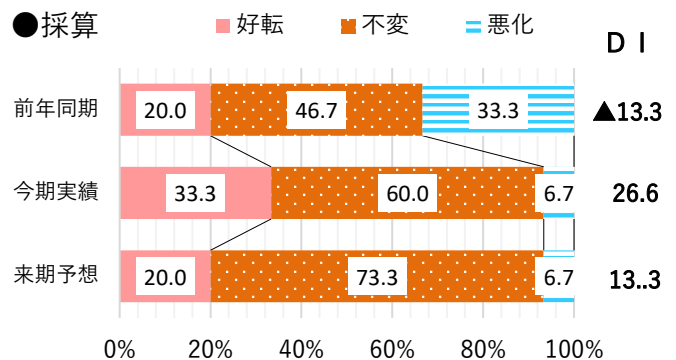
今期の売上高DIは27.4で、前年同期と比べ47.4ポイントと大幅に上昇しました。

来期の売上DIは今期と比べ10.1ポイント低下すると予想しています。

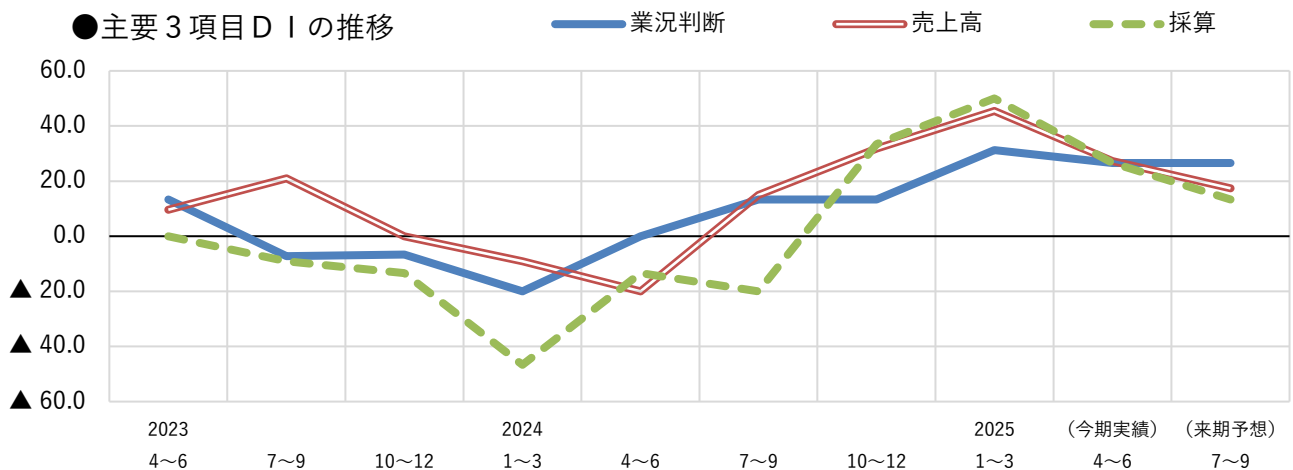


今期の採算DIは26.6で、前年同期と比べ39.9ポイントと大幅に上昇しました。

来期の採算DIは今期と比べ13.3ポイント低下すると予想しています。



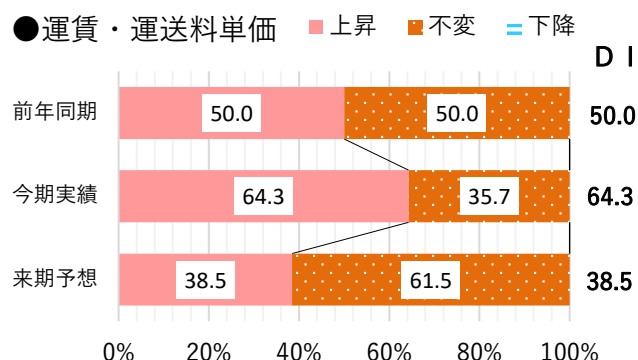
●主要3項目D Iの推移



運賃・運送料単価、保管料単価

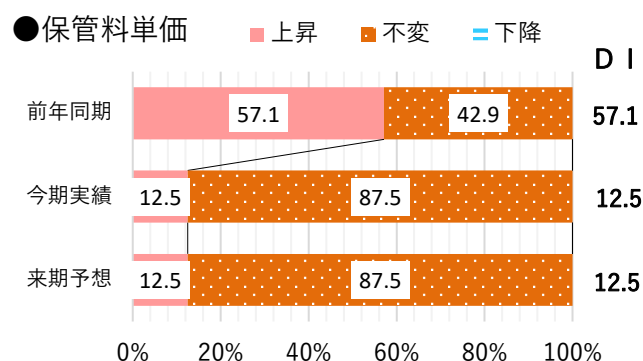
今期の運賃・運送料単価DIは64.3で、前年同期と比べ14.3ポイント上昇しました。

来期の運賃・運送料単価DIは今期と比べ25.8ポイント低下すると予想しています。



今期の保管料単価DIは12.5で、前年同期と比べ44.6ポイントと大幅に低下しました。

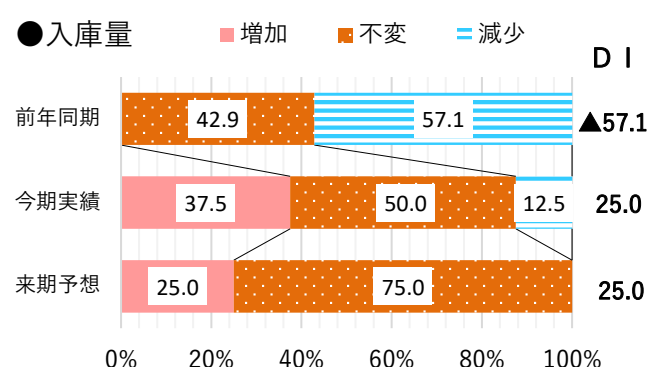
来期の保管料単価DIは今期と比べ変化なしと予想しています。



入庫量、出庫量、保管残高

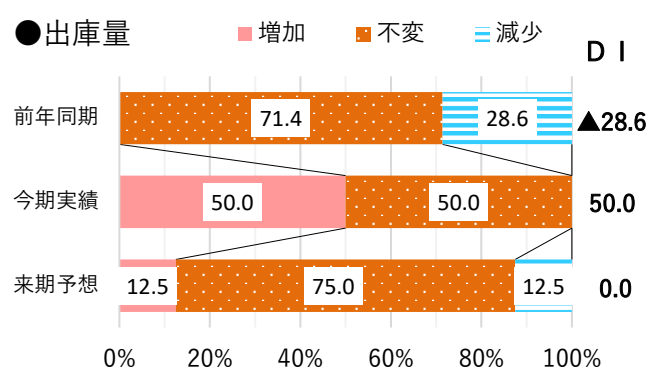
今期の入庫量DIは25.0で、前年同期と比べ82.1ポイントと大幅に上昇しました。

来期の入庫量DIは今期と比べ変化なしと予想しています。



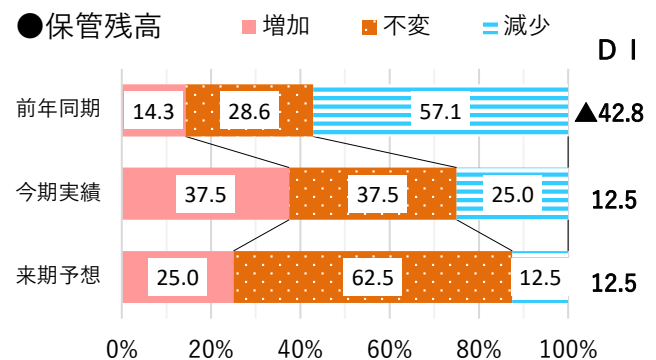
今期の出庫量DIは50.0で、前年同期と比べ78.6ポイントと大幅に上昇しました。

来期の出庫量DIは今期と比べ50.0ポイントと大幅に低下すると予想しています。



今期の保管残高DIは12.5で、前年同期と比べ55.3ポイントと大幅に上昇しました。

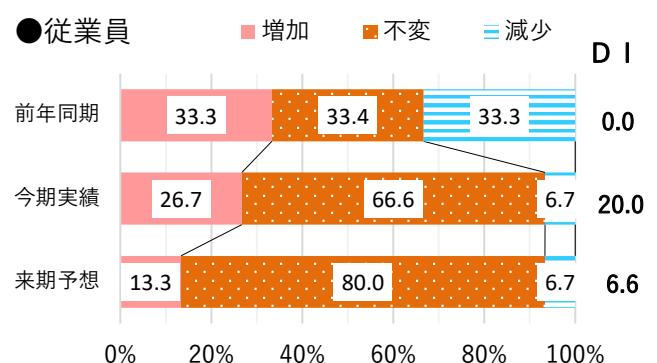
来期の保管残高DIは今期と比べ変化なしと予測しています。



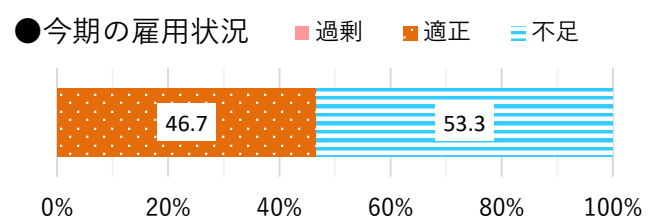
従業員、今期の雇用状況

今期の従業員DIは20.0で、前年同期と比べ20.0ポイント上昇しました。

来期の従業員DIは今期と比べ13.4ポイント低下を予想しています。



今期の雇用状況について、自社の従業員数が過剰であると回答した企業はなく、適正であると回答した企業の割合は46.7%、不足していると回答した企業の割合は53.3%でした。



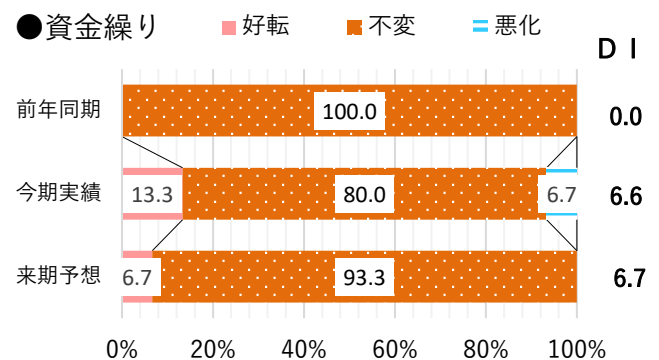
従業員数と雇用状況の相関関係について、最も多かったのは「従業員数は前年同期比で変わらず、充足している」、「従業員数は前年同期比で変わらず、不足している」という回答で、それぞれ33.3%を占めました。

今期従業員数	今期の雇用状況	回答数
増加した	過剰	0
	適正	2
	不足	2
不変だった	過剰	0
	適正	5
	不足	5
減少した	過剰	0
	適正	0
	不足	1

資金繰り、設備投資

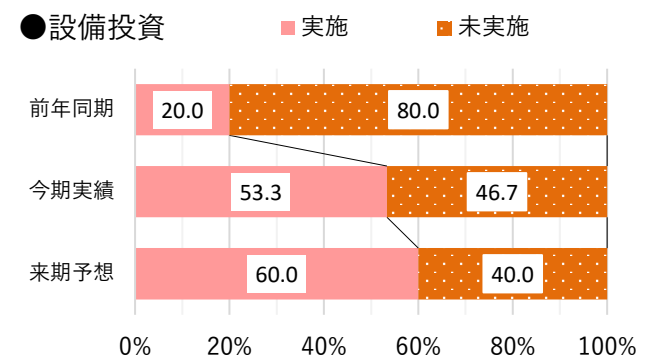
今期の資金繰りDIは6.6で、前年同期と比べ6.6ポイント上昇しました。

来期の資金繰りDIは今期と比べ0.1ポイント上昇すると予想しています。



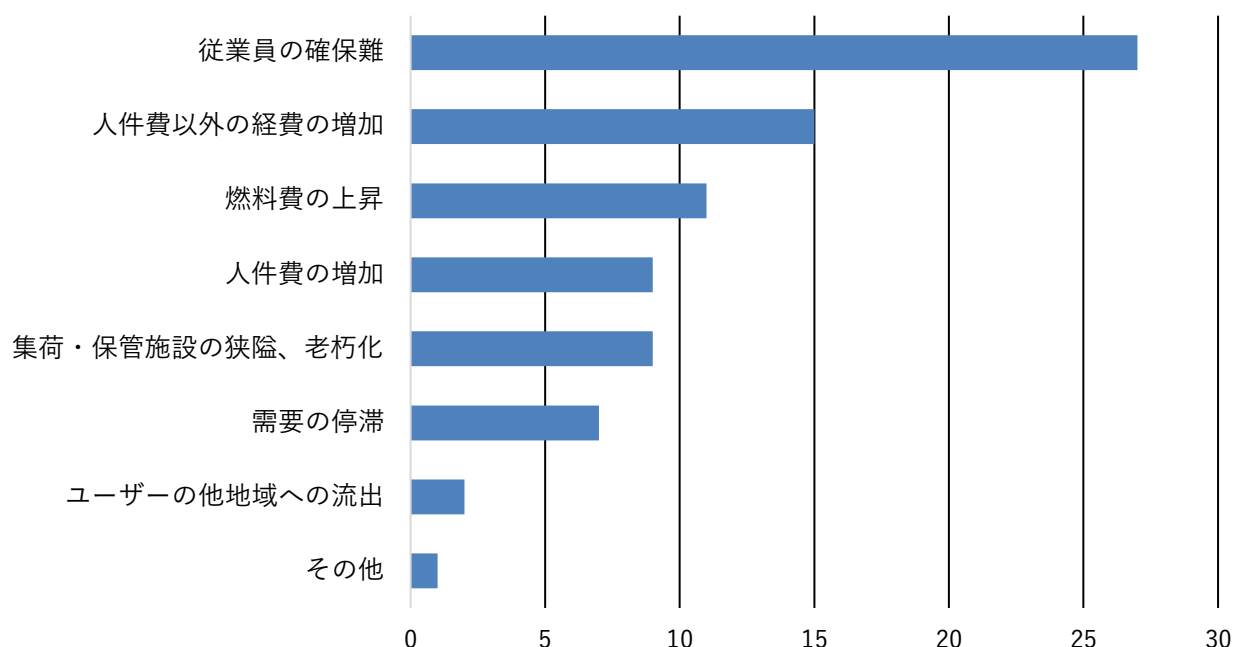
今期の設備投資はを53.3%が実施と回答し、前年同期と比べ33.3%上昇しました。投資内容は、1位が「輸送機材」、2位が「O A 機器」の順です。

来期は60.0%が設備投資を計画していると回答しています。



経営上の問題点

今期直面した経営上の問題点は、1位が「従業員の確保難」、2位が「人件費以外の経費の増加」、3位が「燃料費の上昇」の順です。



企業の声

[今期の業況について]

- 前年12月に運賃改定を実施したことにより、今期は売上額が上昇した。（道路旅客運送）
- 売上単価は増加したが、消費行動は低迷傾向。（道路旅客運送）
- 人材確保に苦戦している。（道路旅客運送）
- 倉庫部門に関しては通年通りで推移するが、輸送部門のドライバー職の確保が出来ず収益・現業差益の悪化の原因となる。（道路貨物運送）
- 人材確保に苦戦するも、業務単価は上げることが出来ている。（道路貨物運送）
- 昨年並に推移しそう。（道路貨物運送）
- 倉庫保管では、備蓄米の出庫が進み、保管料収入は減少と見込む。（港湾運送）
- 貨物・旅客とも数量、売り上げともに増加となった。貨物についてはほぼ前年並み、旅客は旅行需要等で増加、人材確保については新入社員入社により増加。（水運）
- 料金改定が出来て、収益は改善。（倉庫）
- 出庫量の増加により売上額が減少した。（倉庫）

[来期の業況について]

- 売上額の変動すると見込んでいる。（道路旅客運送）
- 昨年並に推移しそう。（道路旅客運送）
- 人材確保が出来なければ今期同様で推移する見込み。（道路貨物運送）
- 貨物は収穫期を迎える事と、旅客も旅行や帰省の需要期を迎えることで、輸送量・売り上げとも増加見込み。（水運）
- 入庫量の増加が見込める為、好転するものと思われる。（倉庫）
- 今まで通りの料金改定ができるか未定。（倉庫）